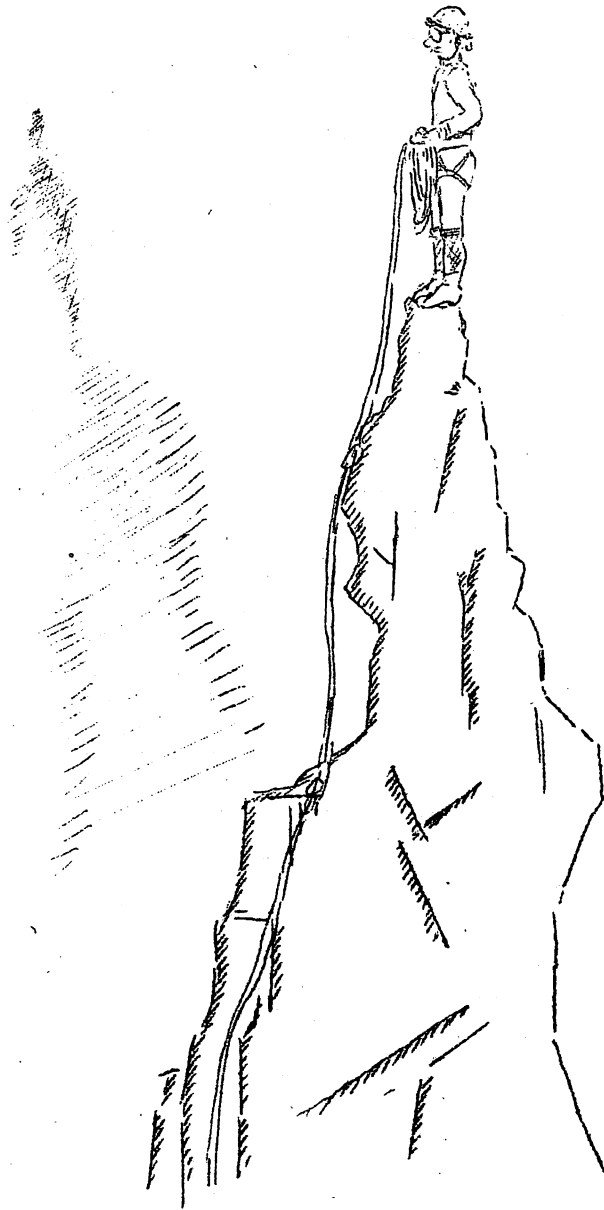


山行報告



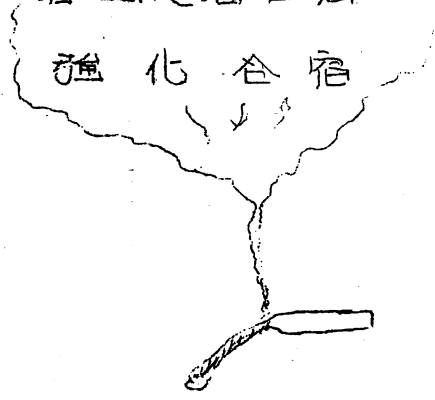
信州大学山岳会。長野山岳部 昭和45.12~46.5

目次

冬山縦走合宿

春山定着合宿

強化合宿



冬山縦走合宿 → 東鎌尾根 → 不倉 → 西鎌尾根 →
C.L.#0, S.L.大谷, 秋田, 加賀瀬, 藤松
菊池, 野口

春山定着合宿 → 三国境にB.C. <
C.L.大谷, 藤松, 加賀瀬, 菊池 (4人)

強化合宿 → 北鎌尾根 → 槍塚
C.L.秋田, 野口, 藤松, 菊池, 加賀瀬 (5人)

冬山縦走合宿

45年12月28日~46年1月 日

構成

- CL 井口隆夫(工土木4) SL 大谷敬(工精密4)
- 医療係 萩田敬典(教.技術1) 装備係 菊池宮人(工電気1)
- 食料梱包係 加賀瀬豊彦(工電子1) 野口彰(工土木1)
- 気象係 加賀瀬豊彦(同上)
- 会計渉外係 藤松太一(教.技術2)

場所

ニノ保 → 中山ノ口 → 東鎌尾根 → 西鎌尾根 → 石折 → 下山

12月28日 ⊗ =

12時5分 マイクロに2. 松本発

2時00分着

2時15分 出発

2時46分 ニノ場着, 設営

3時50分 終, Essen 開始

5時00分~15分 メン. ゲイカツ

6時40分 眠る.

12月26日 ⊙

3時30分起床

3時45分~4時15分 メン

5時50分 出発

6時40分~50分 1本

7時15分~25分 木村小屋 高風霧退

7時50分~8時10分 上高地に到着

9時05分~20分 1本 明神

途中一人を乗せマイクロの
運転を任のりさせ、中ノ湯
の所まで入らせる。40分
ほどは走るが一本も歩か
ない内井口はカニンゴテニ
戻ると歯が痛く、吐く。
初めての冬山何れも心か
おどる事だ。

上高地までは重かった。
しおし、テポを作ったから
はわりと重さを感せず
行けた。
天候はあまりさえず厚い
雲におおわれ、ちびり
不意が残る。

10時15分~30分 1本 徳沃

11時45分~12時 1本

12時55分~1時05分 1本

1時35分 一、俣着 (冬期小屋に入る)

3時30分 Essen 開始

4時55分~5時20分 Essen

6時10分 めちやえ!

12月27日 ○

4時45分~5時00分 ナツ

秋田P(テラの回収)加賀野 中山P 井口、大谷、野口、菊池

5時45分 出発 藤本

6時45分~55分 1本

8時05分~25分 1本

徳沃の小屋にて中田と会う

9時45分~10時30分 上高地

11時25分~30分 1本

12時30分~40分 1本

2時00分~10分

2時40分 B.C着

3時35分 Essen 開始

4時50分~5時05分 ナツ

6時30分 班い

良い天気である誰かは上高地の手前まで走り出す。又一、俣近くの橋で一回転。この上高地も静かである。甲田嬢と谷川お茶をこらとつになつた。又、ケキも丹、てB.Cへ。

12月28日 ○ -17°C
3時40分 Essen 起床

4時40分~5時05分 マッ

6時10分 Go!

7時~10分 渡洋 1本

7時55分~8時05分 1本
渡洋

9時15分~30分 1本

10時25分~35分 1本

11時25分~40分 パン

12時30分~45分 パン

2時05分 エロに迷う
予市場をさがす

2時40分~3時25分 読書終了

3時55分 Essen 起床

4時25分~40分 マッ

7時00分 ぬるめん

12月29日

4時40分~55分 マッ

△p 予木回収 叔田 藤池 里子

快晴なのである。青い空を背に
出発さうの中山アタックが
天候に終わり今日はニノ俣が
らつき上げる。
6回もの(渡)渡洋にめげず。
竹内の靴を冷たいぬれの中へ入
れればやく歩まうのである。
エロに迷う場所ではフッセル
に格闘が見えるがリッコーと
つかず。やっどか思いで中少
の...に迷う。尚念がド正前
気なる。この川より冬山の禎走が
は...するのだ。

Bp #口 大谷 中田 藤本 加藤 柳
6時30分 Go!

7時50分~8時05分 1本
アイロンをかける。

8時55分~9時15分 1本
パン

10時30分 天井着 小屋に予木
パン

11時30分 出発

今日の寒さは
は無ガ、ヒ
がく白人を
ザリケート
なホオがバ
ッーで凍傷
に合ッ。R。
匂をかいい
んや。

2時30分 予市場着

4時45分~5時05分 マッ

6時 ぬるめん

12月30分 ② → ①
3時 Essen起床

3時45分 ~ 4時 ヅン

6時 Go! -11°C

6時35分 ~ 7時 1休

7時35分 ~ 45分 1休

8時45分 ~ 4時 1休 1休

4時40分 又天母岳着 設営

10時40分 終了

3時20分 Essen開始

5時15分 ~ 35分 ヅン

7時 もうぬよう。

12月31日 ② → ③
飛殿

更天とは言ハガレハガ千前中は天候は悪く雪が降り
風も有りガスで視程は千石のり雪もやみ回復し
未だ新人ヒッこ今回の挑戦は体力の回復を
野口君は夜更そくすラジヲを聞ハスガキ
4時15分 Essen開始

5時00分 ~ 15分 ヅン

3時40分 Essen開始

4時45分 ~ 50分 年ハソバ
1月1日 ○ 朝のうらながらるハ → 10時よりお尻のハ
4時 云々起床

5時 ~ 5時15分 ヅン

さのうとはつてかわり風も
あまリ強く無リ大気が快調な
やまの天開まど行つてし
まの肩半次のような形である
天候もわりと良くお尻のハ
日になる。

1月2日 ○ 風弱し何れも快気だぞ
 4時 Essen起床

5時15分~30分 ナツ
 7時10分~8時15分 環
 9時25分~35分 環
 ↓スツオ合
 11時55分~12時10分 環
 1時00分~10分 環
 1時55分 肩の小屋着
 各期小屋に入る
 1時00分 お茶
 1時20分 Essen起床

快晴無風。信じてものをすく
 のはさ。何かこの山行は大考
 がた過ぎる
 秋田仕終船TOPズラと曳11つ
 栗鏡屋根を歩るく。元行バー
 ンがかたり有りトレスはち
 んとついでに最後の肩まで
 ほしんどかっ。R。
 冬期小屋に入りや、とお落ち
 つく今日北録を右手に見る。
 いつかとりつきた小屋根だ。
 北録からどんどん来ている。

6時00分~15分 環

6時00分 照むいももん
 1月2日 ◎ 風有利弱(掃) 池
 6時00分 Essen起床

7時00分~20分 ナツ
 7時 槍アタク出発
 10時25分 小屋着
 3時 Essen起床
 5時40分~50分 メン
 7時 1124!

びこの語は知らないがヤロヤ
 ロキヤナーなめて槍へとかしか
 しそんが甘いもんじゅあまけん
 ぞ不命のセークに立って。あ、い、情
 るうじえとってすくもどって
 しまつとん。
 冬期小屋でレグニツ一するその
 かいありラーナニ燂そぼガリリ
 ンが多身とみっかりからでよ。
 よがよが。

1月4日 泡

3時55分 Essen起床

4時00分~15分 ちち

沈黙ののどあま。どうあま
静寂の山岳部のオッサニが
冬山の裏尾根を独りやっ
て

3時30分 Essen南側

ちち。彼は更天の中(明け
方)下山して行く。

4時45分~5時05分 ナン

6時 飯3 クマ!

1月5日 ② 風強シ 泡

4時00分 Essen起床

こんど日のキツ打ち
のいやな事誰かさん
は毎日打って来る馬
鹿もいる。

4時55分~5時10分 ナン

又痔のむとはかゆり
そう。ウツツ。

3時30分 Essen南側

5時30分~45分 にのみスノケテ

1月6日 ② 風強シ → ① 風弱 (雨)

4時00分 Essen起床

5時00分~15分 ナン

西鎌の下リロがいや
だ。長。しかし午後
の回復ととも
何とことば
あのラスト

7時45分 Go!

8時25分~35分 1本

襟江のり前のヒーク
まごの巻りのオッサ
ン。車。襟江のり
あの伏調が
さう。終り → つあ
だ。鎌一合。ある
のである

10時20分~30分 1本

11時10分~11時25分 1本

12時25分~35分 1本

1時35分~45分 1本

2時10分 弓折着 鼓管用

3時30分 飯3 Essen南側

5時00分~30分 ブタ汁

今も少し早修次市し
冬山系徒走感想
冬山系徒走感想

冬山系徒走感想
冬山系徒走感想
冬山系徒走感想

冬山系徒走感想

冬山系徒走感想

冬山系徒走感想
冬山系徒走感想
冬山系徒走感想

冬山系徒走感想
冬山系徒走感想
冬山系徒走感想

冬山系徒走感想

冬山系徒走感想

冬山系徒走感想
冬山系徒走感想
冬山系徒走感想

冬山系徒走感想
冬山系徒走感想
冬山系徒走感想

冬山系徒走感想

冬山系徒走感想

冬山系徒走感想
冬山系徒走感想
冬山系徒走感想

冬山系徒走感想
冬山系徒走感想
冬山系徒走感想

急流 (急流 = 急流 = 急流)

- 25日 W 3W 11°C
上高部 急
- 26日 WNW 15W 21°C
一保 急
- 27日 WNW 11W 22°C
二保地 ○
- 28日 W 6(11W) 21°C
一保地 ○
- 29日 NNW 5(10W) 17°C
中山口 → 天井口 → ②
- 30日 NNW 6(13W) 16°C
中山口 → 天井口 → ②
- 31日 WSW 7(16W) 19°C
⑤ 天井
- 1日 WNW 6(12W) 18°C
天井 → 西岳 ③
- 2日 NNW 6(15W) 19°C
西岳 → 稜 ○
- 3日 WSW 8(18W) 20°C
稜 ○ 天井

3日 12時
960mb

2日 12時
1065mb

1日 12時
974mb

急流

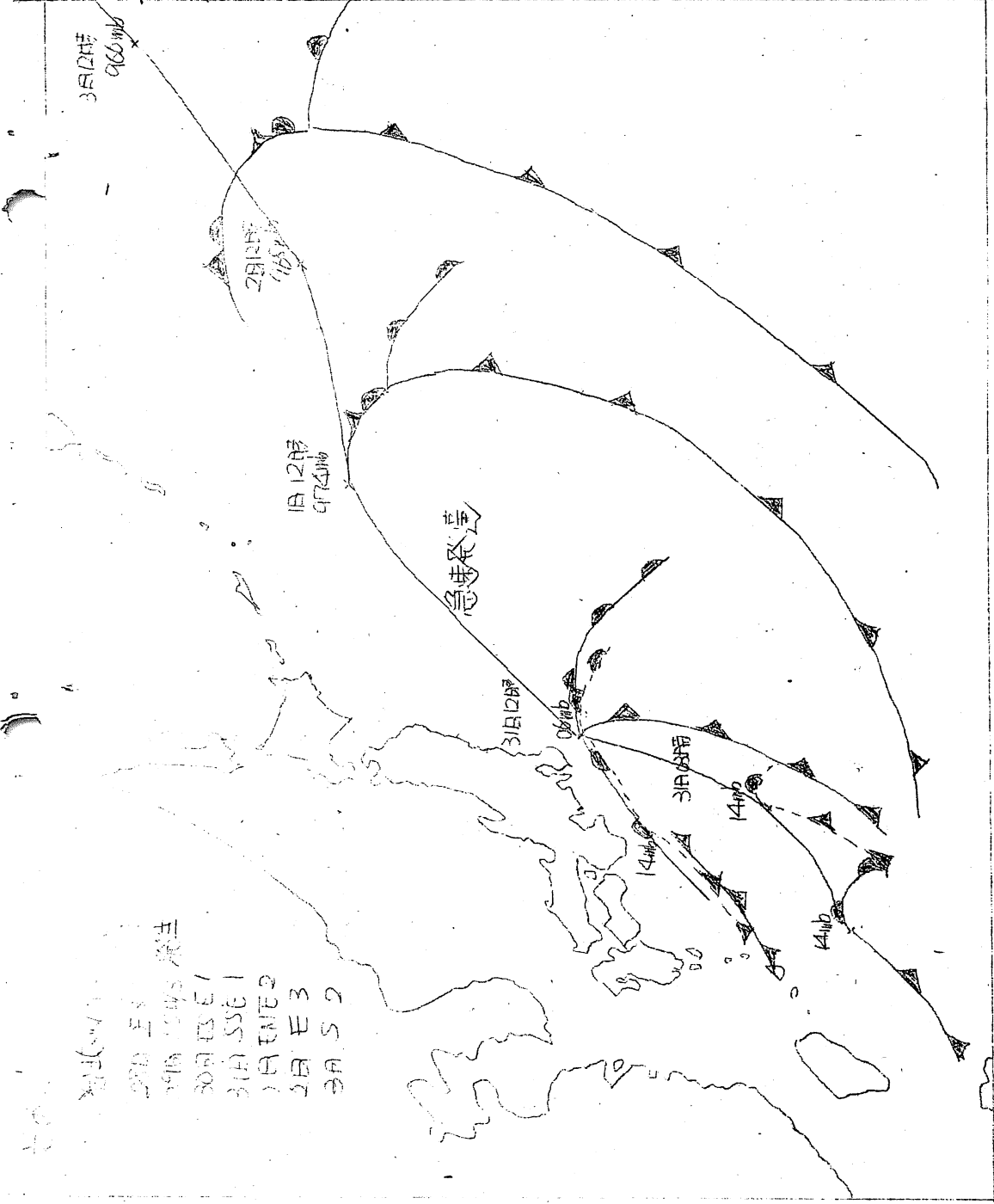
3日 12時
960mb

3日 12時
960mb

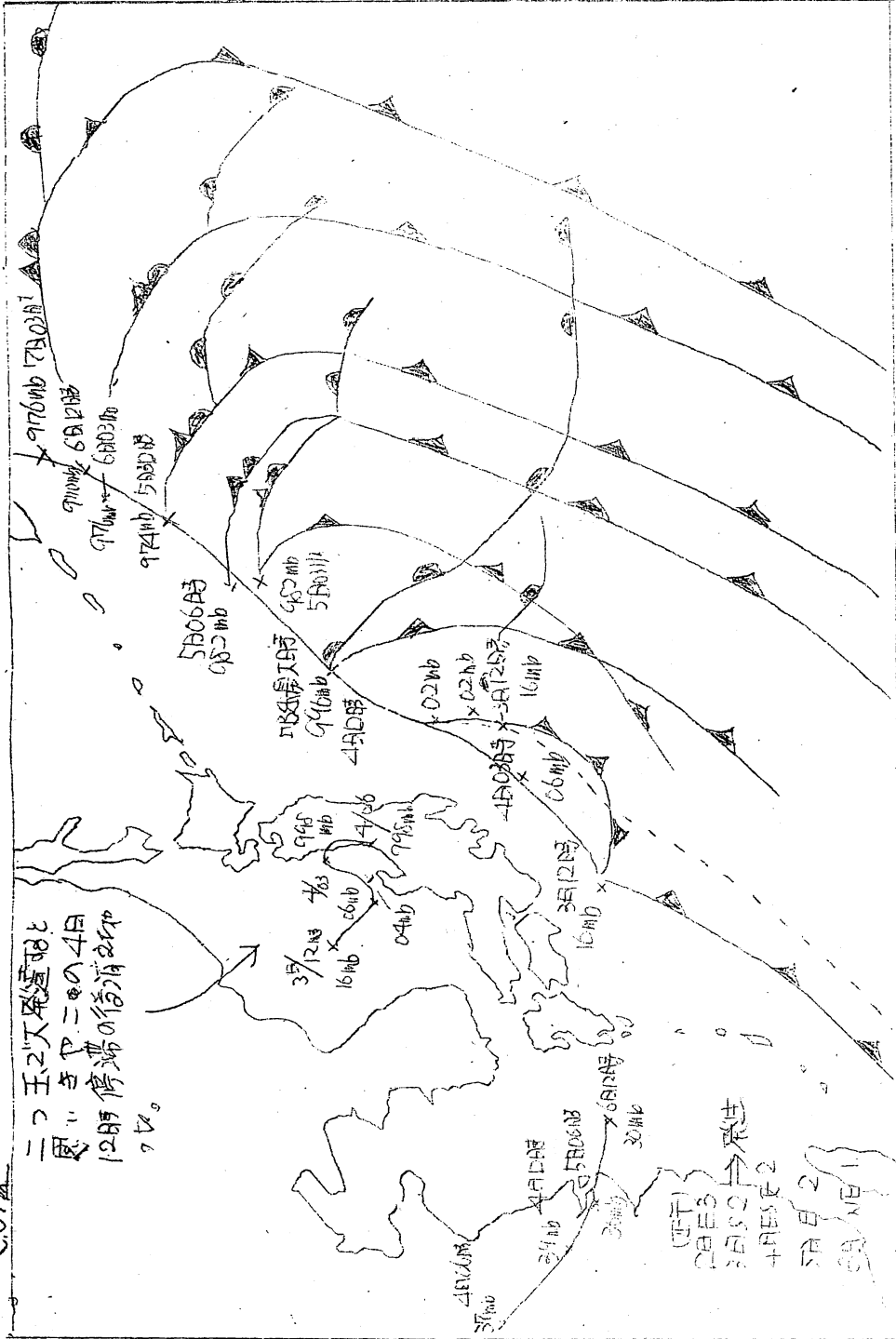
4時
960mb

4時
960mb

- 2日 12時
- 2日 12時
- 3日 12時
- 3日 12時
- 3日 12時
- 3日 12時
- 3日 12時
- 3日 12時



二つ王の穴発達88と
恩川、きや、二島の4日
12日停端の信海20日
74。



(上干)

- 2日 N N W 13M -19℃
- 3日 W S W 18M -20℃
- 4日 W S W 24M -23℃
- 5日 N N W 15M -26℃
- 6日 W N W 14M -16℃

今年の行辰庄はヤバクして日本海を越、こゆくのみで典型的冬型の低気圧カ、たぶらうでる。
減念。しにが。こ本村のた出しも降雪もなが、尺のどしどし。
ますはめぐらしめどらら。

(文責ムズ鳥の板)

春山定着谷宿

当初計画していた燕北尾不良が入山不可能なものが出た由
メンバー構成に無理が生じたので計画を変更し我がホームグラ
ンド白馬峠刃の定着にかえました。

3月12日~19日

OL 不谷 敬 (工務 4)

装備係 菊池 宮人 (工電 1)

記録係 藤 松 正一 (教員 2)
食糧係

気象係 加賀 頼 彦 (工電 1)
合計係

12日 ◎

6時55分 暖寮出発

7時05分 バス停着 わがんと志山 藤松が寮まで取りに行く。

親の原着

11時45分 リフト終点着

ハロンを2枚食べず。しばらく下果
しもお別れが黄色い声で背に
ギスギスを背あう。
ガス、マ、。

12時10分 出発

12時45分)1本 早大小屋
12時55分

加賀 頼 彦 は 2 日 ヨイ が 残 っ て
いる。

1時25分 ティーハウス

1時50分 設営終了 成城大小屋の上

2時20分) J-7-
2時35分

3時 Essen開始

4時25分~4時45分 豚汁

6時30分 眠る。

大雪ス、オリせず。明日は雪か。みんな苦しそう。加賀頼
彦は2日ヨイが残り2日ヨイ。

13日 ⊗ → ⊗ = → ⊗ 半沈

3時40分 Essen 起床

4時30分~50分 マスジメシ

5時55分 出奔

6時25分~6時30分 休 雪の降りがひどい

7時20分~7時30分 休

7時55分 天狗原着 ニコニコL 行動は無理と半沈

8時30分 設営終了 車どきの雪がみるみるうちにありを
白くかえりゆく

9時00分 △ニ鳥のフービー

3時30分 Essen開始

4時40分~5時00分 天井

6時30分 目エトニロ!

14日 沈 ⊗

4時30分 Essen起床

5時10分~30分 雑煮

△△△

4時 Essen開始

5時30分~45分 釜入

6時30分 目エトニロ!

この以上この所々に雪が必至なのであろうが、視界がかなり
亂は特別強くなるゆえに、去年の不利が思い出さう。まだ
太陽はどこへ行、たのぞ...

トッポ加賀温泉
4時30分 Essen 起床

5時20分~35分 モチ入りラーメン

6時55分 Go!

8時00分~10分 1本 乗鞍岳に出る。

9時00分~9時35分 白馬天池 ラッセルラッセル、ここで

10時20分~10時35分 1本 大谷什と病の菊池君
の天キジ。アセシワカ

11時20分~11時35分 1本 ワカとる。

12時00分~ 三国峠着

1時15分 飯宮終了

3時30分 Essen開始

4時55分~5時20分 カレ-

7時 飯

小蓮華の登りに加賀温泉め俺達の事も考えおとほしの
かた。もう足が 死ぬ。死ぬ。 。しかし、文藝で文。
誰かは雪に記行き写真と取る。天谷さんの注意も信じて。
明日も川に流れて 遊ぶよ。

16日 ① → ② 沢 ×布×布に風強し

4時40分 Essen 赤丹

5時30分~5時45分 マコホト 朝 風強し。

伏晴
↓
薄曇り
↓
沈殿

5時55分 Essen開始

4時55分~5時10分 コイツ

白馬の本谷レポート 12/6 ツ

17日 ⊗ → ○ 注
4時40分 Essen 取片

5時35分 ~ 50分 雑系

3時55分 Essen 取片

5時15分 ~ 30分 注

俺達何としか来てんスク。ネー何としか。フリム加算時間から
みえる。天気は悪いか。強は毎日合えぬ。フック。俺達
何にしたい来ての。

18日 ① 風 3時

4時45分 Essen 取片

5時35分 ~ 50分 〆米

6時 出発

7時20分 ~ 7時30分 白馬岳着 「カ・ヒ・はヤノ下33世」

8時20分 ~ 8時30分 1本

9時00分 ~ 9時10分 針ヶ岳着

10時 針ヶ岳着

「カ・ヒ・はヤノ下33世」
無山カエロウ注

11時50分 出発

12時30分 ~ 40分 1本

快調

1時25分 ~ 1時40分 1本

やや快調

2時40分 天狗着

4時30分 設営終了 Essen 取片

ニ申して拾い
かニイ。

7時 V.S. O 〆しに針ヶ岳

(17) 〆 〆

五五酒への針ヶ岳小竹沢に〆しに針ヶ岳入天の天狗山に針ヶ岳
か、藤木の竹の〆しに針ヶ岳

19日 ①

5時30分 E線出発

6時50分~7時20分 釜の火

8時50分 50!

9時30分~40分 休 鞍峰をこえたらセル

10時25分~45分 休 太一への引きつろ下る

11時25分~45分 休 瀬の谷の強引に引く

12時10分~20分 休 11時の下を越へ何人かへ

1時00分~20分 休 谷の底に下り山へ行き穴を

2時00分 新着 毛12 - 観音閣とじり
こまを下山

行 = せき = けい = せいの せいの せいの せいの せいの

おまね 大谷の太一 山の手 山の手 山の手
(文蔵 藤本)

春小合宿 藤本 大谷 敬

入山前のことごとから即アルプス系徒走の計画を
急転変更し白馬周回に入山したのは合宿ということ
からあまり好ましいことではなし、另外各方面に對し
て連絡が遅いままに部員心理に微妙に影響
するからである。白馬周回は風の強引なことでは日本有数
ある。今回も天気がよくても行難いことがあった。

大谷と藤本が先命に入山し、4日は「動行な」ことは
ない状態だった。今回は新人の「動行な」ということで

あえて行動しなから新人にとっては物に成る。山行であった
という許しは取らざらぬ。

さて種々の反省だが毎かついたことを列挙してみる。

- ①自分の体調は自分で解かることだから入山前に充分
管理する。
- ②入山中は心と身と引き締めること。
- ③ア・ノ・ウ・カ・リ・Etc. 登山者 個人事情も整理しておく。
- ④三國境の問題文に於ける主のミスである。
- ⑤雪崩はア・ノ・ウ・カ・リも入山前に研究しておくこと。
- ⑥ルートその行程、或行動行動中はよく自分のリテラシー
行動する。

まあ大体こんなものであるが、自分でよく反省して、今後の
の山行に生かして頂きたい。

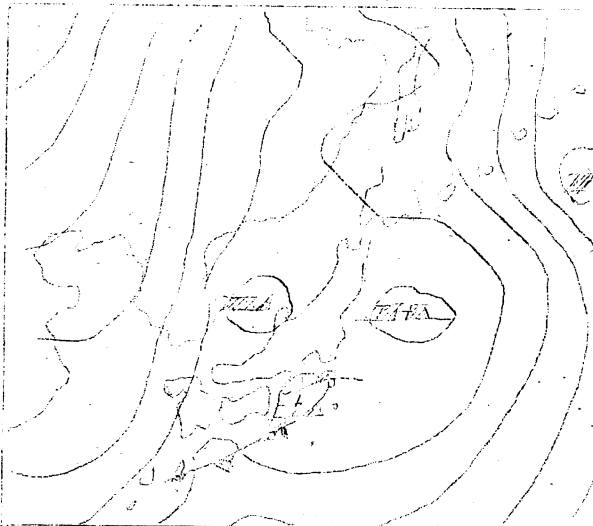
春山谷宿感

藤松入一

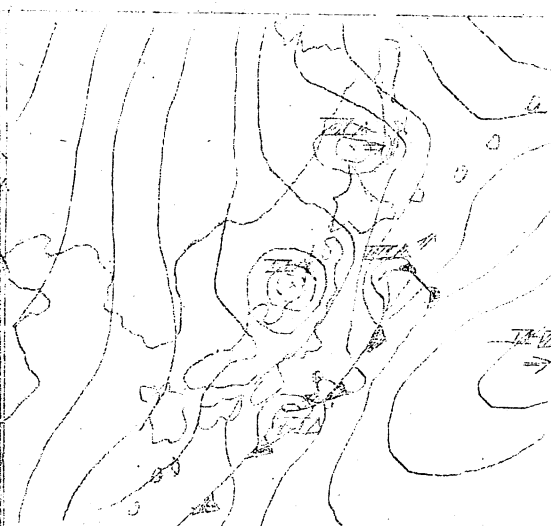
当初の燕北辰北の全脱主の突然の不参加により計画は
変更しざるを得なくなつた。それに加え又一人不参加
局白馬定着となつた。今回の山行は白馬鉢のピークまでの行程
であつた。沢殿の連続であつた。全く目的一つさえも達成でき
問題を残した。天候が悪かつたのは事実ではあるが、全く計画
とは思ひ違いもあつた。

今回の全宿はもと本質的の点より反省する必要がある。
本質的とは、各個人が山岳部員たる自覚、又責任が持つ
に思ふ。とりわけ口口町の岳人になりすましている。山行
もあるから入山前日までに何故、この行程がどうなるか
我が山岳部の退廃4-ドが山行前にもあり、山行中にも
いまでも全く意識の欠けた定着となつた。山行中に大抵
という一種の消える事、無リジ、マ、山行中にもある。不
不漸の一言にささる。

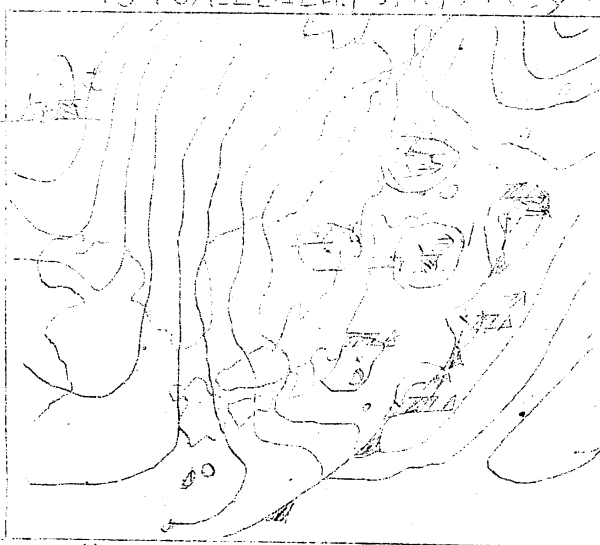
巻二 台宿天図



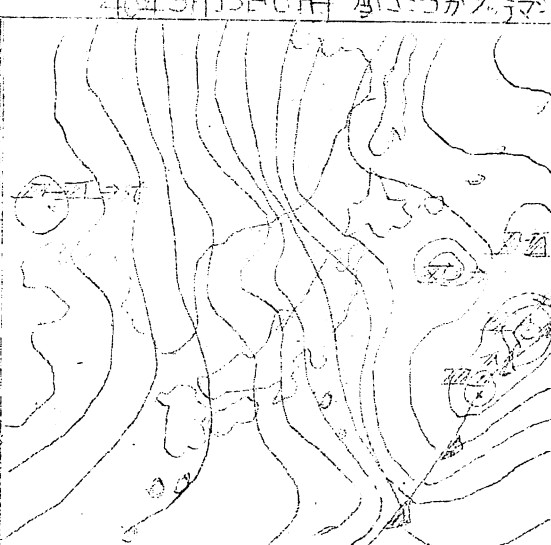
46年3月12日12時 オスノイマツ



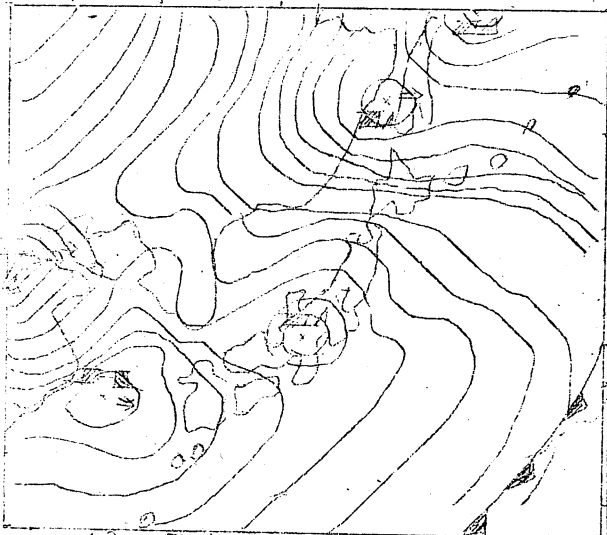
46年3月13日6時 雪ノコガネマツ



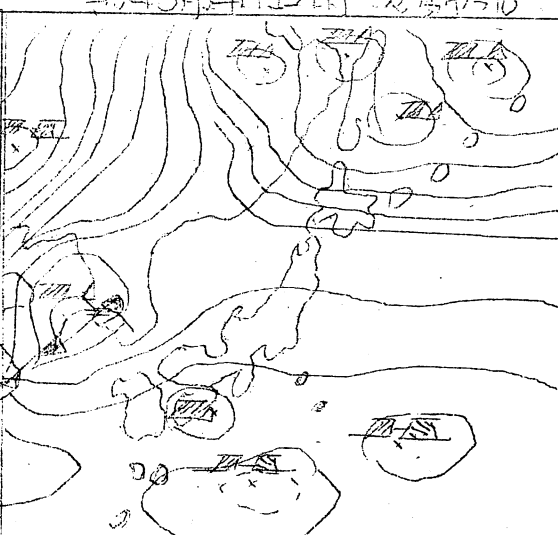
46年3月13日12時



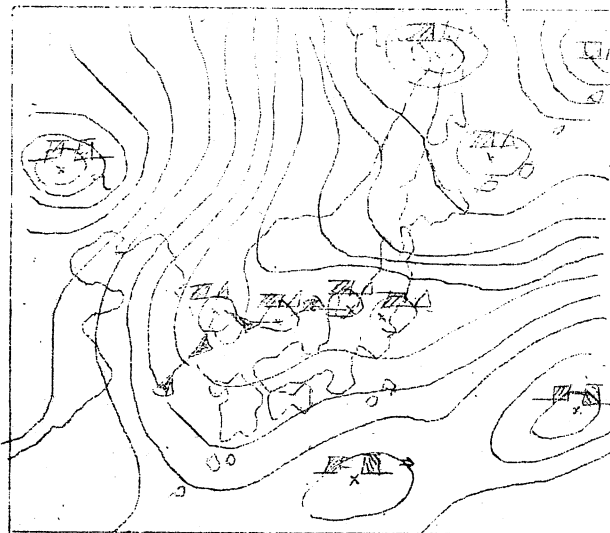
46年3月14日12時 沈馬ヤノ



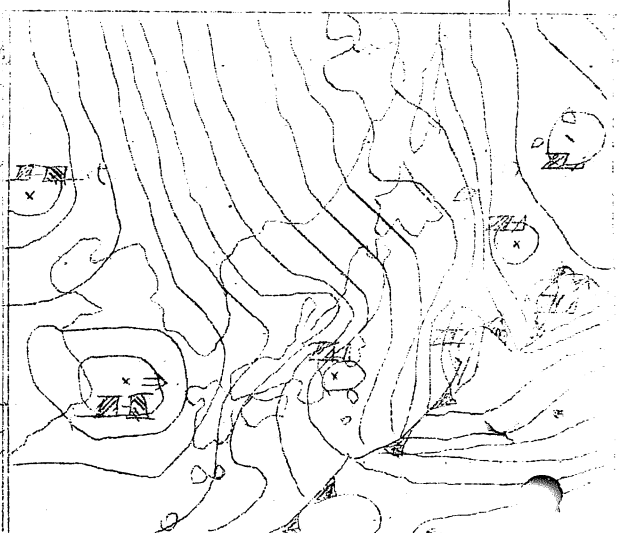
46年3月15日12時 ○



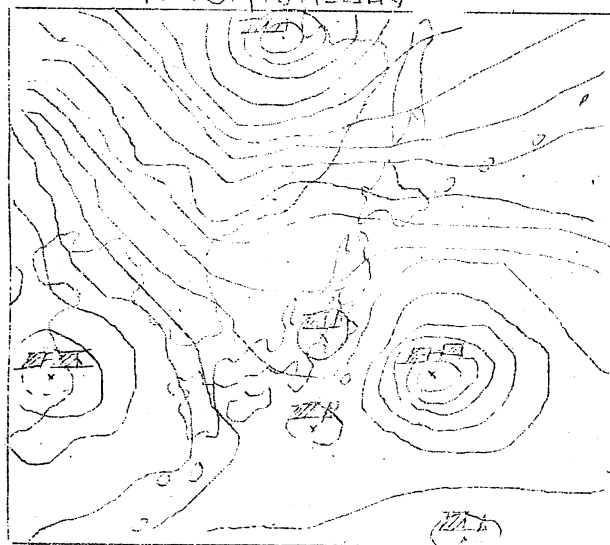
46年3月16日6時 ○→①→②



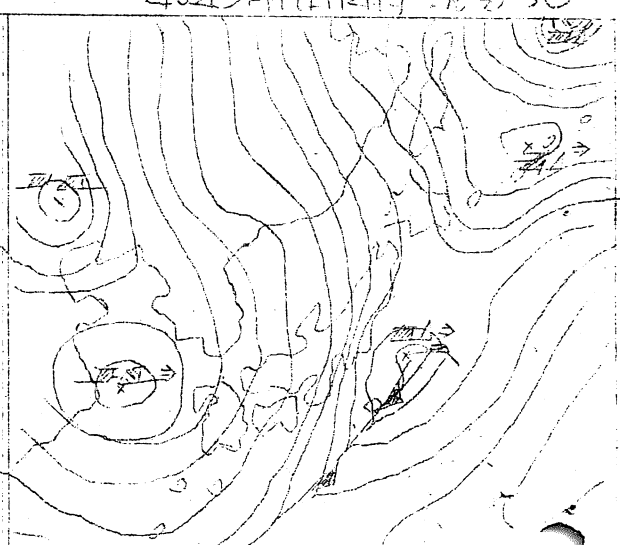
46年3月16日12時



46年3月17日12時 ① → ②



46年3月18日12時 ① → ③



46年3月19日0時 ② → ④

山左部長諸君に告ぐ、白馬はいいとこよんネ
 Essenはんぞみ百酒クせよ。all 次でんネ。
 天気もイイデヨ。風もマシデヨ。
 移動も来てる風はやす×知強。空は青空風は
 ドニピューー。
 ひかひ。このよういつどうすよばいいのグデニト
 中がぬかばいいのカネ。

強化合宿

北緯 4月10日 ~ 11日

4月

11時 入場 終了し
 12時 和食 13時 14時
 15時 和食 16時 17時

GM 秋田菊典

記録 医療 藤松 八木 高橋 菊池 聖人

浅井 田中 加藤 橋本 森 塚 野口 彰

15時 16時 17時 18時 19時 20時 21時 22時

15時 16時 17時 18時 19時 20時 21時 22時

6時 7時 8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時 19時 20時 21時 22時

7時 10分 11時 12分

7時 20分 11時 20分

8時 20分 ~ 11時 20分

9時 10分 ~ 11時 10分

10時 10分 ~ 20分

11時 10分 ~ 20分

12時 25分 場又着

12時 40分 巻

1時 30分 ~ 40分 1本

2時 25分 T入 1本

3時 55分 テニコ 設営 終了 コーヒー

4時 15分 Essen 開始

5時 00分 ~ 15分 巻

6時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時 19時 20時 21時 22時

松本伊那のナヤ等と合宿。
 10/2009

7時 10分 11時 12分
 7時 20分 11時 20分
 8時 20分 ~ 11時 20分
 9時 10分 ~ 11時 10分
 10時 10分 ~ 20分
 11時 10分 ~ 20分
 12時 25分 場又着
 12時 40分 巻
 1時 30分 ~ 40分 1本
 2時 25分 T入 1本
 3時 55分 テニコ 設営 終了 コーヒー
 4時 15分 Essen 開始
 5時 00分 ~ 15分 巻
 6時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時 19時 20時 21時 22時

北緯の P₁, P₂, P₃ を
 空の一角に集めて
 3本の棒を
 のリフフツェルト
 の中に身をいれ
 る。

5月1日 ○ 微風

4時10分 Essen起床

4時45分 Essen起床

6時35分 Essen起床

7時25分 Essen起床

8時35分 Essen起床

9時35分 Essen起床

10時50分 Essen起床

11時50分 Essen起床

1時25分 Essen起床

2時25分 Essen起床

2時40分 Essen起床

3時05分 Essen起床

3時30分 Essen起床

4時30分 Essen起床

5時10分 Essen起床

5月2日 ☉ → ⊗ = → ⊗ 風強ッ

3時30分 Essen起床

4時30分 Essen起床

4時00分 Essen起床

4時55分 Essen起床

8時30分 Essen起床

今日の天気は悪く、風が強い。特に朝の時間帯は、風の強さが予想以上に強かった。天気の悪化は、試合の進行に影響を与えている。特に、選手の体調や集中力にも悪影響を及ぼしている。試合の結果も、この悪天候に大きく左右されているように思われる。

結局、試合は引き分けで終わった。両チームとも、悪天候の影響で、本来の実力を十分に発揮できなかった。特に、後半戦は、選手の疲労が顕著になり、試合のペースも遅くなった。今後の試合では、このような悪天候に備える必要がある。選手の体調管理や、試合のペースコントロールが重要になる。

予備中では、行前出来の状況が、試合当日の状況と異なる可能性がある。特に、選手の体調や集中力、そして試合のペースコントロールが、試合の結果に大きく影響を及ぼしている。今後の試合では、このような悪天候に備える必要がある。選手の体調管理や、試合のペースコントロールが重要になる。

レースを満してやる。

2時30分 出巻

3時05分~15分 独歩寺前

4時40分~45分 休

10時25分~11時10分 休

11時45分~11時55分 休

すれにの藤松野口が化をかける。

1時45分~10分

穂ノ口橋

飯に由に 二人々に人間が
多いのウアイセの舞

1時45分~55分

舟ノ島

人こいさもんネ。

2時30分

3時40分より高で天候が自ノ身が変化

3時40分 読書(休)

この時より高で天候が自ノ身が変化
この時より高で天候が自ノ身が変化

4時30分 カレ

5時30分 Essen開始

我がパーティーは筆が折る口
がれとも Essenにわが無いの然
もうあまりのまいと奥めんも人ネ。

6時30分~45分 筆マッ

5月4日 ⑧ 取返し

2時30分 ミソオンヤ

外はものすごい吹雪であら。午時
の天候図を取りに、教日天候
の回復は無いと判明。下山と
いう事になり上高地へ。

4時30分 出巻

10時20分~40分 肩の川原

10時40分 穂ノ口下

雨とソリセード出来る。すれに上か
り下すれに。南池をニクム。
太曲りの手前 増雨にかねる。

12時20分 穂ノ口ロッジ着

秋田が六ノ島。

3月30日

ロッジ出祭

6時30分頃

のバスで下山

快調なペースで下山して山が途中次第に
向で野口がネーデルにペースが速く
行く。ようやく上高地へつく。今朝の雪は
まだ残っている。今日は月曜日のため、
休みの日である。

二本御殿

強化合宿反省

〇山手田村

二三の寝を除けば皆人存よくや、早く山頂と認める。いくらステップ
がついてはいると、山頂に、ハテナに。しかしこの二三の間
は自身を自覚して、山頂よりが、無意識の内に、行方不明になる
は、同様である。山頂は、二行止、Topを歩かせ、ペース概念から
ずたずた、Topが後の名産、自身は、歩み、早く、こと、とある。
特に、後名、場合、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、
その場所を、過ぎ、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、
後続の、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、
止に、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、

次に、最小というが、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、
である。音が、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、
かに行、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、
しかし、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、
山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、山頂、

強化合宿感想

藤松太一

残雪期、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
ト、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
い、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
印象、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
く、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
よ、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
最後、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
を、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
と、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
とい、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
さ、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、
す、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、雪の、